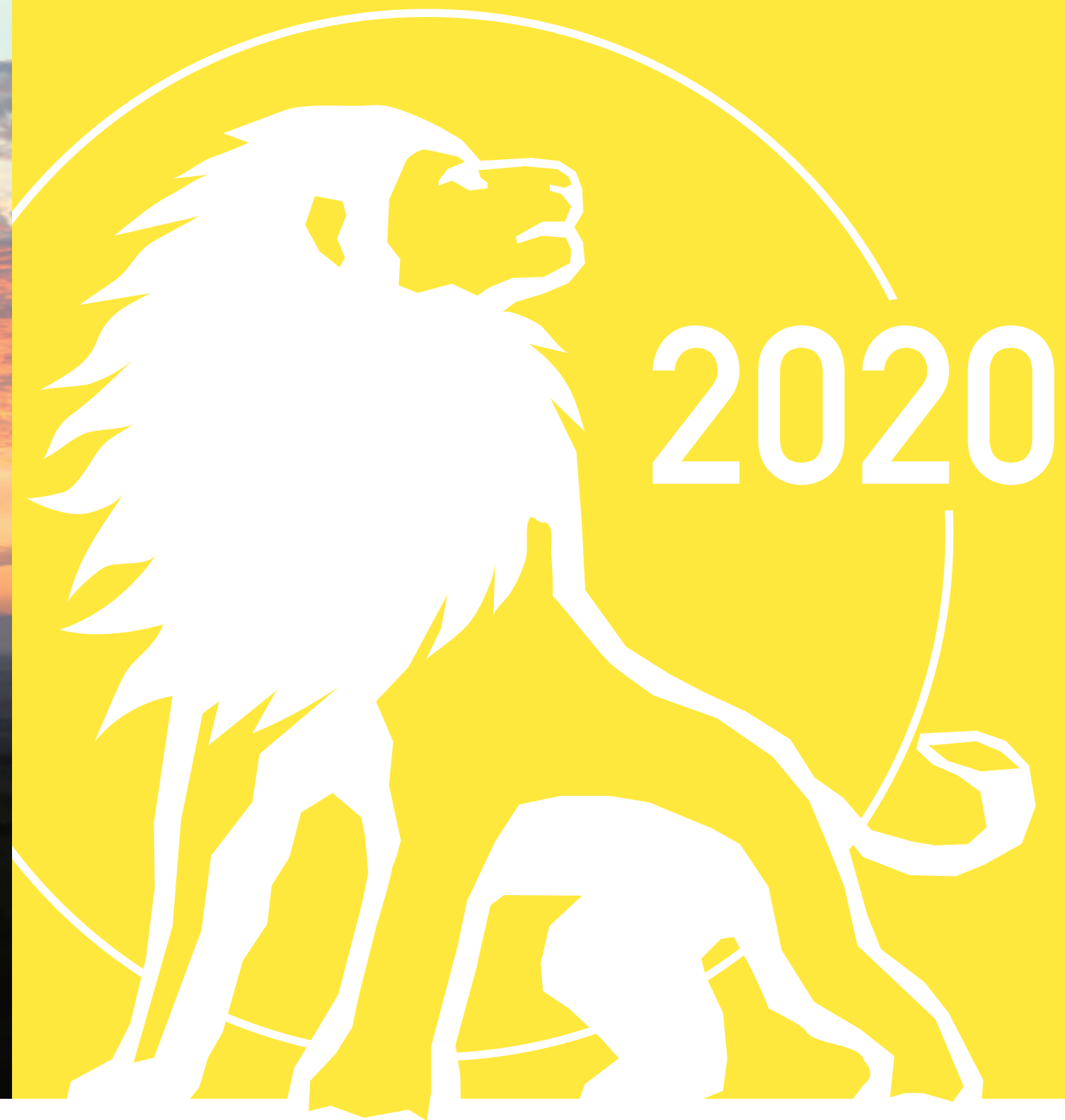




公益財団法人 風に立つライオン基金
〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号 赤坂甲陽ビル5F
Tel:03-5575-3111 Fax:03-5575-3112
<https://lion.or.jp/>



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

活動報告書

2020.04-2021.03

Annual Report 2020
April-March 2020-2021



「風に立つライオン」のモデルとなった柴田紘一郎医師とケニアで献身的に活動する公文和子医師を訪ねる。この出会いが「風に立つライオン基金」設立のきっかけとなった。

ごあいさつ

いつも『風に立つライオン基金』をお支えくださり、本当にありがとうございます。

新型コロナウイルスの嵐吹き荒れた2020年でしたが、ご健康で過ごされましたでしょうか。

『風に立つライオン基金』では“今我々に出来ること”をテーマに、精一杯の活動を致しました。

福祉施設、介護施設をクラスターから護る為に医師と看護師を派遣して予防法や、万が一の場合の対処法などの勉強会を日本全国各地で行いつつ、同時に医療物資不足に悩む医療機関に物資支援を行いました。また、2020年7月に豪雨被害に遭った九州各地17市町村に物資支援を致しました。更に最も被害の大きかった人吉市にはカーコンビニ倶楽部様のお力添えを得て軽トラック3台をお届けしました。

これは全て皆様方の強いご支援ご寄付のお陰です。皆様から新型コロナウイルス対策として通年の倍以上のご寄付を頂戴致しましたので『風に立つライオン基金』も勇気を持って思い切った支援を行うことが出来たのです。

本当にありがとうございます。

勿論我々は万能ではありません。出来ないことの方が多いのですが、日本中が安全、平和であることを祈りながらも、どこかで困っている人があり、我々に出来ることがあれば、これからも精一杯に活動をして参りたいと思います。

今後とも、どうぞ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

感謝を込めて

風に立つライオン基金
設立者 さだまさし

活動理念

存在理由

我々は、小さな『志』の集合体です。
我々は、災害に苦しむ人を支援します。
我々は、ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。
我々は、大切なひとの笑顔を守るための「平和」について考え、活動します。
一人一人の小さな思いが、
沢山の小さな生命を支えられることを信じます。
「風に立つライオン基金」はその為の組織です。
2015年 夏 さだまさし

活動理念

1. 私たちは「いのち」や「平和」を守る為に奉仕活動や慈善活動をしている個人や団体に対し、細やかな援助をしていきます。
2. 私たちは大規模災害などで被災した方々に対し大きな組織では目の届かない場所や人へ、ささやかでもぬくもりのある支援をしていきます。
3. 私たちは金銭的、経済的支援だけでなく、人的支援を行うための組織作り、人材育成を行います。

活動内容

1. **海外支援:「いのち」と「平和」を守る志を応援する**
国内外において「いのち」や「平和」を守るため支援活動や慈善活動を実践している個人、団体に助成し、偉大な志を応援する活動。
2. **被災地支援:ぬくもりのある支援を**
大規模な自然災害に被災し、心に痛みを負った人々へ物資や炊き出しを届け、慰問コンサートやチャリティイベントなどぬくもりのあるエールを届ける活動。
3. **高校生ボランティア・アワード:私たちの志と活動をつなぐために**
日々地道な奉仕活動を実践する高校生が活動を発表し交流することで、理解を深め、連携し、切磋琢磨する場を提供するとともに、それを顕彰し継続と発展を願う活動。
4. **講演・イベント:笑顔と幸せとわたしたちの想いを届ける**
有識者や著名人をお迎えした講演やチャリティイベントを開催し、参加者に笑顔と幸せを届け、活動を継続する募金を呼びかける。



設立前のあゆみ

2011



チャリティ

東日本大震災復興チャリティーコンサート from 名古屋
東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート
さど★まさし題名のある音楽会
「ともいき」災害復興支援コンサート(2回)

被災地訪問

宮城県石巻市
岩手県大船渡市・陸前高田市・宮城県気仙沼市・石巻市・福島県南相馬市
岩手県宮古市・山田町・大槌町・釜石市・遠野市
宮城県石巻市
福島県(広野町・葛尾村・楳葉町・大熊町・川俣町・飯館村・浪江町・富岡町・川内村・双葉町)
奈良県十津川村

2012



チャリティ

魚町ツつあ もどっぺす!
いのちのメッセージ 福島の子供たちへ
東日本大震災復興祈願・開道会
鎌田寛&さだまさしトークライブ
紀伊半島大水害復興チャリティーコンサート in 十津川
さだまさし復興支援チャリティーコンサートin 北見、in 日田、in 那智勝浦
カウントダウン in 仙台

被災地訪問

宮城県塩竈市
福島県南相馬市
岩手県大船渡市
和歌山県新宮市熊野川町嶋津／那智勝浦町

2013



小説「風に立つライオン」発表

チャリティ

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
2013長崎から東北へ
さだまさしチャリティーコンサート in 気仙沼
平和を祈る音楽法要
さだまさし東日本大震災復興支援チャリティーコンサート

被災地訪問

岩手県大船渡市

2014



映画「風に立つライオン」ロケでケニアへ、公文和子先生との出会い

チャリティ

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
2014長崎から東北へ
はまらいんや気仙沼2014フェスティバル

被災地訪問

東京都大島町(伊豆大島)

2015



映画「風に立つライオン」公開

チャリティ

東日本大震災復興支援コンサート
東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
2015長崎から東北へ in 日本武道館
はまらいんや気仙沼2015フェスティバル

これまでの実績

2015

助成事業 5団体500万円
被災地支援事業 支援コンサート1回
義捐金100万円 1市



2016

高校生ボランティア・アワード2016
@國學院大學
エントリー校122校 参加人数3,159名
来場者 約300名
助成事業 5団体1000万円
被災地支援 支援コンサート6回
義捐金1,480万円と寄贈品 15市町村/団体
講演・イベント 7回



2017

高校生ボランティア・アワード2017
@さいたまスーパーアリーナ
エントリー校138校 参加人数4,230名
来場者 約7,000名
助成事業 6団体850万円
被災地支援 支援コンサート3回
義捐金380万円と寄贈品 6市村/団体
講演・イベント 4回



2018

高校生ボランティア・アワード2018
@東京国際フォーラム
エントリー校145校 参加人数7,879名
来場者 約8,000名
助成事業 5団体650万円
被災地支援 支援コンサート2回
義捐金700万円と寄贈品 10市町/団体
講演・イベント 4回



2019

高校生ボランティア・アワード2019
@バンフィコ横浜
エントリー校134校 参加人数5,570名
来場者 約8,000名
助成事業 8団体850万円
被災地支援
義捐金100万円と寄贈品 2団体
講演・イベント 5回



※いずれも事務局集計、延べ数

「風に向かって立つライオンでありたい」

内容	国内外において、医療・教育等の活動を実践する個人・団体への助成支援
期間	申請期間 2020年3月16日～2020年4月20日 実施期間 2020年7月1日～2021年3月31日までに実施される活動
助成額	8,500,000円
助成団体	8団体

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援してきました。

今年度で助成事業は6期目を迎え、のべ37団体46,900,000円の助成を実施しました。

これからも、国内外でがんばる「風に立つライオン」の志を持つ方々を応援していきます。

児童養護施設ハウスオブジョイ	フィリピンミンダナオ島ダバオオリエンタルサンイシドロ市
-----------------------	-----------------------------

平和や自然環境を守る活動

コロナ禍でも楽しく過ごすための児童養護と学習支援
助成額:1,000,000円

20人の児童を養護施設で支援。対面授業の禁止や、移動制限で級友や親族にも会えないコロナ禍でも、楽しく有意義に過ごせるよう望遠鏡や顕微鏡、インターネット環境や学習用具等を助成金で整備。実験や観察、日曜大工、絵画や料理教室、動画編集など、自宅学習を毎日5時間行い、その成果を児童自らWEBで発表できるようになった。



シロアムの園	ケニア共和国キアンブ郡ンデンデル村
---------------	-------------------

国際医療

「シロアムの園」におけるケニアの障がい児のための療育活動の向上
助成額:2,000,000円

45名の身体・知的・行動などの障がいのある子ども達が、継続的に医療・リハビリ・教育など必要なサービスを、ご家族がコロナ禍に必要な社会的支援(食糧支援・収入向上研修・行政連携など)を受けることができた。また、18名のスタッフが各職種に必要な能力強化研修を受けることができ、障がい児に対する質の高い療育活動を行うことができた。



特定非営利活動法人 TICO	ザンビア共和国ルサカ市
-----------------------	-------------

国際医療

ザンビア国における心臓血管外科の強化
助成額:1,200,000円

コロナ禍のため渡航を自粛したが、心臓の手術に必要な人工肺と回路の寄贈を行った。さらにコロナ対策として、病院に不織布マスク5,593枚、フェイスシールド144枚、使い捨てガウン1,770枚を、小中学校(生徒9,150人)に消毒液500L、石鹸200L、手洗い場25個、体温計5個、マスク2,300枚を寄贈し、ザンビアの人々のいのちを守ることに貢献した。



一般社団法人 共生の会	ケニア共和国ナクル州他
--------------------	-------------

国際医療

ケニア共和国ナクル州における巡回診療活動の継続及び拡充
助成額:1,200,000円

新型コロナウイルス感染症に伴い、ナクル州での巡回診療は実施出来なかったが、ケニア版「ふんわりチャンボン大作戦」として、ナイロビ日本人学校をはじめ、市内の現地医療従事者を対象に感染症対策の正しい知識・技術の普及に努めた。先述の活動を通じ、他の学校への学童検診の依頼があり、2021年4月以降の活動拡充に繋げることができた。



認定NPO法人 テラ・ルネッサンス	ウガンダ共和国アジュマニ県バギリニア難民居住区
--------------------------	-------------------------

平和や自然環境を守る活動

コロナショック下における難民及び最貧困層の生活・生計支援
助成額:1,000,000円

南スーダン難民が暮らすウガンダ北部の難民居住区において、新型コロナウイルス感染予防のための衛生用品の配布や、命の危機に瀕する難民への食料援助、マスク制作(2000枚)の仕事の提供、及び難民やエッセンシャルワーカーへのマスクの配布を通して、100世帯の難民約500名の新型コロナウイルス感染を防ぎ、命を守ることができた。



特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)	ウガンダ共和国オボンギ県バロリーニャ難民居住地
--------------------------------------	-------------------------

公衆衛生向上活動

南スーダン難民のいのちを護る:新型コロナ感染症対策支援
助成額:1,000,000円

南スーダン難民が居住するウガンダ共和国のバロリーニャ難民居住地にて、初等・中等教育校26校および公共施設21施設へ衛生用品を配付した。また、難民リーダー60人への新型コロナウイルス感染予防の啓発研修、学校での同感染症予防啓発ポスターの掲示、269人の子どもたちへの手洗いやマスク着用を促す衛生啓発活動を通じて、住民による同感染症予防の実践に貢献した。

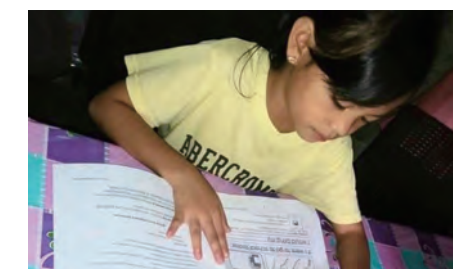


認定NPO法人 アクセスー共生社会をめざす地球市民の会	フィリピン・ケソン州アラバット島ベレーズ町
------------------------------------	-----------------------

平和や自然環境を守る活動

フィリピン農漁村における子どもと保護者のライフスキル強化事業
助成額:500,000円

就学支援している小学生202名を対象とし、子どもたちが自身の抱える問題や気持ちを表現して周囲の大人と共有し自分自身を守る力を身につけることを目的としている。コロナウイルス感染拡大により対面活動が制限されたが、「自己認識力の強化」と「コミュニケーション力の強化」をテーマに教材開発を行い、書面での質問と回答という形で実施した。



熱中症関連疾患に関する多国籍共同研究グループ	日本・タイ・ラオス・ベトナム
-------------------------------	----------------

国際医療に係る研究

熱中症を合併する可能性の高い熱中症関連疾患の発生状況について多国籍多施設を対象とした疫学調査
助成額:500,000円

COVID-19感染対策と両立した熱中症関連疾患の対策(積極的な全身冷却と水分補給)を、気温が高い地域の実情に応じて明示し、公衆衛生の改善を目指す。各施設の倫理委員会の承認を得た後、データ収集を開始し、既に日本4万2千件、ベトナム1万件、タイ11万件の診療データを手し、4か国9施設で実現可能な研究計画を作成することができた。



風の緊急特別応援「いのちを護ろうと支援する人を支援する」

感染防御物資送付支援

4月に入り、最前線でコロナ対応をしている医療機関で物資が不足している状況を知ります。世界中で争奪が行われ、入手が困難、入手できるとしても通常より数倍も高騰している状況でした。

評議員の鎌田實先生（諏訪中央病院名誉院長）に相談させていただきながら、なんとか物資を調達し、35箇所の医療/福祉機関に直接送付しました。当時は、本当に毎日のように鎌田實先生やさだまさしを中心に、オンラインや電話でミーティングを重ね、何ができるかを模索していました。

支援先	支援内容	
35箇所の 医療・福祉機関	ポリエプロン	9,500枚
	タイベックスーツ	300着
	サージカルマスク	30,000枚
	N95	2,380枚
	KN95	6,900枚
	手作りエプロン	2,000枚

みなさまからの声

「マスクの供給が市場には出回って来ておりますが、医療用のサージカルマスクは手に入りにくいので、今回のご支援は本当にありがたいです。そして、なによりも温かいメッセージをおくってください、本当にうれしかったです。コツコツとがんばってきたことを認めてもらったように思えて、すごくうれしかったです。」

「スタッフ全員の抱える小さいストレスが、いつまで続くのかわからないために更なる極限状態を作っています。上記のような中、届けられた物資はその物理的な助けだけではなく、「誰かが助けてくれた。」というただそれだけの優しさに触れただけでも、現場が心から感動を覚え、貴団体に感謝をしています。この閉塞感の中に、物資支援を受けられたことがどんなに現場にとって貴重なことであったかをお伝えできればと思います。」

※受領メールより一部抜粋



ふんわりチャンポン大作戦

新型コロナウイルスに関する情報が錯綜し、何が本当に正しいのかわからない中、鎌田實先生やさだまさしが中心となり、「福祉崩壊をさせない!土俵際で頑張る現場の人たちをリスペクトして、せめて安心を感じてもらって気持ちを楽にしていこう。」と、始まったのがふんわりチャンポン大作戦でした。

風の団専門団の医師・看護師の方々や、特定非営利活動法人ジャパンハートさんと連携しながら、全国の介護福祉施設・事業

概要

目的	福祉現場へ知識・技術・安心を届け、感染症に強い福祉現場を目指す
内容	①感染管理の専門知識を有した医療者が感染対策の知識や技能を無償で伝達する。 ②相談会を開催し、業務の課題や不安を共有し、その解決に向けた具体策を案出することで、現場のケアスタッフに安心を届ける。 ③相談会后、オンラインコミュニティへの参加を促し、施設職員の不安の払拭に貢献する。
期間	2020年5月7日～2021年6月現在実施中
後援名義	厚生労働省、内閣府
実施回数	75回
参加施設数	687箇所
参加者数	1,732名
参加都道府県数	36都道府県1カ国（ケニア）
派遣人数	244名

※事務局集計、延べ数。



所へ伺いました。さだまさしの故郷の長崎名物「ちゃんぽん」のように、色々な医療団体・個人と連携したいという想い、そして、「ふんわり」とみんなで考えていこうという想いが込められています。

現場で悩みやストレスを抱えながらも、高い志とプロフェッショナルな姿勢で献身的に業務に取り組んでいる方々から、本当に多くを学ぶことができました。

ご参加くださった多くの方々からの学びを、ふんわりと次の現場につなげていくことができたように思います。

みなさまからの声

「医療従事者だけではなく、福祉・介護サービス従事者を気にかけてくれている、介護の現場を応援してくださっている人々がいることを、とても嬉しく、心強く感じた。」

「この相談会がきっかけとなってスタートになると思う。これから感染症対策の具体的な仕組みを作っていきたい。クラスターが発生したら、1事業所で解決できるものではないので、地域ぐるみで団結しなければならない。」

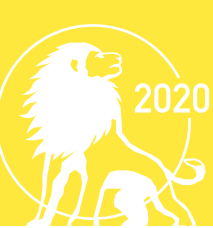
「不安と恐れしかありませんでしたが、今回のふんわりチャンポン大作戦で受けた研修と相談・質問などにより、コロナ感染者が発生したとしても「ちゃんと対応できる」という自信と感染対策をきちんとやれば感染しないのだという安心感が芽生えました。」

「参加者に感想を聞いても「とっても良い研修でした」「いつでもコロナが来てよかったです」気持ちになりました」など絶賛でした。感謝・感謝の言葉に尽きます。」

「この相談会を受け不安が少なくなりました。本当に役に立つ研修でした。」

※受領メールより一部抜粋





国内支援（災害支援事業）

らいおんカフェ大作戦



対応が長期化する中、心身ともに疲弊している医療/福祉機関や保健所など現場で懸命にがんばる方々へ、休憩時間にホットとひと息入れていただきたい想いで始めた第3弾の支援は「らいおんカフェ大作戦」でした。

また、コロナにより影響を受けた就労支援やデイサービスなど、3つの事業所の皆さんにラベリングや梱包などの仕事をするという支援につながりました。

支援先	支援内容	
172箇所	ブラックコーヒー 230ml	15,180本
医療機関 67箇所	カフェオレ 230ml	15,000本
福祉機関 79箇所	あ、さだ飴	620缶
保健所 16箇所	マヌカハニーのど飴	3,140袋
自治体 7箇所	ガードドロップ	2,290箱
その他 3箇所		

※株式会社浅田飴様より、ガードドロップを寄贈いただきました。



みなさまからの声

「職員全員に行き渡り、少しの間息つく機会をいただきました、これからの励みとなりました。この感謝の気持ちは、新型コロナウイルス感染症に対する医療を社会へ提供することに換えていきたいと思っております。」

「クラスター発生時に応援をいただきましたが、一番ありがたいのは食べ物、飲み物でした。」

「おいしいコーヒーを作ってくださった方、ラベリングや梱包に携わってくださった方、届けてくださった宅配便の方、本連盟の活動を評価し労って下さった方、皆様に感謝いたします。貴基金からのお心遣いに力を得て、引き続き介護業界一丸となって感染拡大防止に取り組んでまいります。」

「医療をしておりますと本当に色々なことが起こりますが、今回は我々も含めて社会の底力が試されている時と心して頑張っております。しかしながら何かと生活も圧迫されて、心がかさついている時に、気持ちに加えて喉も潤う支援物資、大変ありがたかったです。」

「うちの特養でクラスターが発生してしまい、本当に大変だとしみじみ思いましたが、私達介護職員より、現場をまとめてくれていた看護師さん達には本当に頭が下がりました。うちはちょうど2週間で収束出来ましたが、他ではもっと大変な事になっているとも聞きます。」

「自分たちの状況を理解して応援して下さいの暖かい心が伝わってきて 励まされ、救われる思いです。 この思いを他の方々にもバトンタッチしていけるように、今自分たちができることを地道にしっかりと取り組んでいきたいと思います。」

「一年以上にもわたるコロナ禍において、介護従事者等は常に慢性的な不安と緊張感に苛まれております。エッセンシャルワーカーとして、目の前には私たちを毎日必要としてくれているご利用様がいらして、変わらぬ笑顔や感謝の言葉をいただくと、この仕事のやりがいと喜び、責任をあらためて感じているところです。地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現を目指して尽力していきたいと考えています。」

「ワクチン接種は始まったものの、まだまだ先の見えない戦いですが、終わらない戦いはない、と信じてスタッフ一同前を向いて進んでいく努力を惜しみません。」

※受領メールより一部抜粋



友情物資支援

「残念ながら感染が発生してしまった」「物資が不足している」「自治体などからの支援が届きにくい」事業態の介護福祉機関のみなさまへ、「友情支援物資」を送付しました。

また、コロナにより影響を受けた就労支援事業所さん手作りのガウンを購入し、梱包・発送にもご協力いただき、仲間同士の助け合いの輪が広がりました。

支援先	支援内容	
47箇所の医療・福祉機関	手作りエプロン	6,370枚
	携帯小型アルコール	1,032本
	アルコール4L	63本
	不織布マスク	4,260枚
	PVC手袋	1,250枚
	フェイスシールド	500枚
	あ、さだ飴	829缶
	マヌカハニーのど飴	4,145袋
	ガードドロップ	810箱
	猿田彦ドリッパッグコーヒー	4,600枚

※株式会社浅田飴様よりガードドロップを寄贈いただきました。



みなさまからの声

「学童・児童館スタッフ全員に配り、全員から喜びの声が届いております。特に消毒・マスクは大量に消費するので大変助かりました。おいしいコーヒーや飴にも癒しを頂きました。フェイスシールドも乳幼児向けの読み聞かせやリズム遊びの講師の方はイベントで表情が見えるようにしなければならぬ場面があるようで、大切にに使わせていただきますね。」

「手作りのガウン、細かい部分まで作られていて感動しました。また、「ほっと一息物資」ですが、本当に、本当に感激しました。自分の感染が、高齢者の命を奪う事を自覚しながら、日々我慢の毎日です。こうして速くの方々が自分達の頑張りを評価し、応援してくださっている事を知るだけでも、私たちのような職業の人間には、大変励みになりました。」

「長く続くコロナウイルスとの戦いで、職員は利用する子ども達のために身を挺して働いてくれておりますが、ここまで続くともさすがに想定しておらず皆かなり疲弊しております。そんな中、このような支援物資をお届けいただき、お互いに「ありがとうございます」と言葉を交わす中でひと時の心温まる時間を頂くことができました。また、防疫グッズを法人内で共有することもままならない小さな法人としては、在庫がだんだん減ってきていた防疫資源を頂くことができて本当に助かりました。」

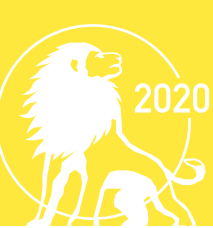
※受領メールより一部抜粋

スマイルコーヒープロジェクト
「風に立つライオン基金」×「猿田彦珈琲」チャリティ企画

美味しいコーヒーを飲むことで医療/福祉従事者を応援しています。感染症拡大防止に務める医療/福祉従事者の方々に束の間のコーヒープレイクの時間を。国際品評会1位受賞のエチオピア希少コーヒーの売上代金より「ホスピタリティブレンドバッグ」を寄付いただき、現場のみなさまへ届けます。現在まで、4,678枚をお届けしました。

※本チャリティにおいて、利益は一切発生しておりません。猿田彦珈琲さんオンラインショップのみでの販売となります。

ご購入はこちら



国内支援（災害支援事業）

がんばれライオン大作戦



第4波では、医療体制の逼迫等を背景に、介護・福祉サービスを必要とする方々が陽性となった場合にもすぐに入院できないなど、さまざまな事情から在宅での療養を余儀なくされるケースが増えていました。小規模の介護・福祉事業所においては、陽性者等の対応自体が、大きな痛手となるにもかかわらず、自らのリスクを承知で在宅療養者等の命と暮らしを支えようと闘っている事業所が多く存在していました。

風に立つライオン基金は、そのような「偉大な志（＝ライオン）」を応援しました。尚、本事業の公募要項の助成対象外となった事業所へも、ささやかなエールとして、支援物資をお送りさせていただきましたことを併せてご報告いたします。

対象者	①在宅ケア事業所 ②事業種別を問わず、小規模の介護・福祉事業所
内容	陽性者/濃厚接触者への支援を行った 「偉大な志（＝ライオン）」に対する助成応援
助成数	16事業所

現場で対応されるみなさまからのお声

「専門職が一人も逃げ出さずサービス提供の継続を全うすることができてよかったと感じています。同じ現場スタッフで陽性になってしまった職員の心情をおもひやり、残りのスタッフたちで現場を守らねばという強い使命感があったのだらうと思います。」

「訪問看護事業として『目の前に困っている方がいれば助けたい。』の一心で今後も県と協力し、有事の際には少しでも助力になればと考えております。」

「もう出来ることをやるしかない。早く普段通りの日常に戻るように頑張ろうと思った。他の利用者や職員の安全を最優先に守らなければいけない。これ以上感染を拡大させず、必ず乗り越える。自宅待機職員もずっと自宅から出られないで生活しなきゃいけないのは辛い。現場も大変だが、チームとしてそれぞれが今、やらなきゃいけないことを頑張ろう。新型コロナウイルスが発生した場所で、支援に入るのは不安があった。でも、利用者の為にも頑張ろう。また、いつもの笑顔が見られるように。」

「『看護師としての使命』それに尽きます。まだまだ予断の許さない状況ですので、在宅療養者を守るべく闘います。」

「約1年にわたり、各々の介護員には自粛をしていただき、無事弊社のコロナウイルス発生者は0にとどめている。介護員としての志が高くなければ今回発生者0という事実は出来なかったと思います。」

「施設は助けを求める声も出せないまま、どんどん孤立していき、心身ともに極限状態となった。最も困ったことは職員不足。職員が激減した。残った職員は魂を削りながら勤務にあたった。応援職員の派遣もあったが、当時施設には誹謗中傷が浴びせられ、多くの職員が傷つき泣きながら勤務が続けていた。収束後半年が経つが、施設にとっては地域とのつながりは薄れたままであり、一部の職員にとっても友人や地域とのつながりが薄れたままである。影響が残っている限り施設に収束（終息）は訪れない。」

「私たちの使命は目の前にある命を守ることだと気付き、地域への説明責任等は後回しにすることと決め、施設内にいる利用者と職員の命を守る行動に全ての力を注ぐと決めた。クラスター対応している事業所はとにかく孤独を感じている。非難の声ばかりが届き、気が滅入ってしまう。唯一の救いは地域や同業者からの応援メッセージであった。新型コロナに対応している事業所には多くの方面から応援のメッセージを届けてもらいたいと切に願う。」

※申請書より一部抜粋

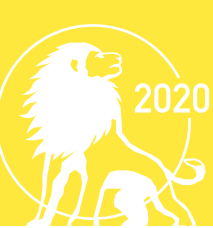
令和2年豪雨支援

新型コロナウイルス感染症とは別の脅威が日本を襲いました。6月下旬と7月の豪雨が九州や中部地方を始め各地に被害をもたらしました。コロナ禍で他県からのボランティアの受け入れは叶わず、普段であれば現場に駆けつけたい気持ちを懸命に抑え、物資の送付支援や車両の貸与を実施しました。



支援先	支援内容
佐世保市	5Lアルコール32本/500mLボトル320本 500mL次亜塩素酸水100本
BOND & JUSTICE 及び避難所	支援金50万円、5Lアルコール40本、 不織布マスク1,440枚、ガードドロップ800個、 1000mlアイスコーヒー120本及び 500mlコーヒーゼリー60本、下着427枚、 フェイスタオル52枚/Tシャツ50枚
熊本県人吉市	軽トラック3台 (カーコンビニ倶楽部社寄贈、無償貸与)
熊本県八代市、人吉市、 荒尾市、水俣市、天草市、 南小国町、小国町、 芦北町、津奈木町、錦町、 あさぎり町、多良木町、 相良村、山江村、球磨村、 和水町、湯前町	不織布マスク18,720枚、 ポリエプロン10,000枚、アルコール204本、 次亜塩素酸水(100ml)3,040本、 次亜塩素酸水(500ml)380本、 ポリ手袋10,000枚、 フェースシールド1,800枚 ガードドロップ4,080箱
大牟田市介護サービス 協議会(約70事業所対象)	4Lアルコール200本/ガウン46枚

※カーコンビニ倶楽部株式会社様(軽トラック3台無償貸与)、燦キャピタルマネージメント株式会社様(次亜塩素酸水(100ml、500ml))、株式会社浅田船様(ガードドロップ)、猿田彦株式会社様(アイスコーヒーとコーヒーゼリー)、ログイン株式会社様(下着)より寄贈いただきました。



高校生ボランティア・アワード

「高校生には未来を変える力がある」

高校生ボランティア・アワード2020WEB大会

目的	互いの活動に対する理解を深め、連携し助け合い、切磋琢磨する
内容	日々地道な奉仕活動を実践する高校生に活動を発表・交流してもらう
日時	2020年12月1日～10日ポスター・動画発表&一般投票 2020年12月12日シンポジウム・特別表彰式
場所	オンライン
参加人数	エントリー校 124校 参加生徒数 5,167名 視聴者数 約10,000名



5回目の節目を迎えた「高校生ボランティア・アワード2020」は、新型コロナウイルスの影響で、予定していた名古屋国際会議場での会場開催を断念しました。

また、高校がなかなか再開されず、8月の開催が不可能となりました。しかしながら、「君の志を応援します!」をスローガンとしている高校生ボランティア・アワードは、こういう時期だからこそなんとしてでも実施したいと、WEB上での開催且つ、大きく時期をずらして12月の大会開催を決定しました。

124校が参加エントリー、最終的に107校が参加、活動動画とポスターを公式ホームページ上に掲載し、12月1日-10日間で一般投票を実施しました。

一校につき一人一票という制限はあったものの、最終的に、総計

25,000票を超える投票をいただき、沢山の方々に高校生の活動を知っていただく機会となりました。

また、節目を迎える大会の新しい試みで、大会ロゴマークを全国の高校生から一般募集しました。

90点以上の力作の中から、最優秀作品は「北海道芸術高等学校 東京池袋サテライトキャンパス 高橋 穂乃佳さん」が選ばれ、デザインので2020大会に彩りを添えてくれました。

大会ロゴマーク最優秀作品



高校生ボランティア・アワード2020

シンポジウム・特別表彰式

今年のテーマは「その一歩が未来を変える」。

5名のパネリストに、2名の司会者と大会委員長のさだまさしを加え、全国各地の参加高校とオンラインでつないで、直接質問に答える形で実施しました。

高校生からの質問に対して、

「誰かのためにやってあげるではなく、一緒に困難を乗り越えようと考えよう」

「想像力を働かせて相手が何を望んでいるのかを理解することが大事」



協賛

名古屋国際会議場(主催)
東海ラジオ放送
東海テレビ放送
中日新聞社

後援

内閣府
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
愛知県
愛知県教育委員会
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

助成

公益財団法人日本財団

協賛

大日本印刷株式会社
カーコンビニ倶楽部株式会社
ライオンズクラブ
一般社団法人ほめる達人協会
マイナビ進学
株式会社アイタ設計
SOMPOケア株式会社

特別応援

特定非営利活動法人国境なき医師団日本

「自分の仕事の範囲を決めず、一生懸命になるのがいい」

「単に沢山のひとと繋がるより、目指す目的や価値観が同じ人たちを見つめることが大事」

「疑問を抱かず、一歩一歩歩くこと」

「精神力を強くするより、一歩引いて俯瞰して全体を見て逃げることも考える」

など、各パネリストのみなさんから心からの前向きなアドバイスと、高校生たちの「未来を変える一歩」を踏み出せる言葉を贈っていただきました。

パネリスト



国境なき医師団(MSF)日本
会長/外科医 久留宮隆



日本劇団ノーザンバージョン推進チーム
リーダー 花岡隼人



アルピニスト
野口健



シンガーソングライター
平原綾香



NPO法人Smiles for Children Japan
代表理事/群馬大学医学部医学科2年
伊谷野真莉愛

司会者



元文化放送アナウンサー
寺島尚正



当法人評議員/諏訪中央病院
名誉院長 鎌田實



大会委員長
さだまさし

応援団



ももいろクローバーZ

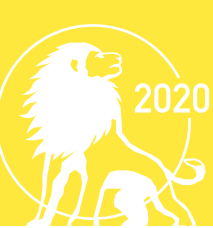


新羅慎二



テツandトモ

(敬省略)



チャリティ・コンサート～笑顔とわたしたちの想いを届ける～



公益財団法人 風に立つライオン基金Presents 新型コロナウイルス感染防止対策・令和2年7月豪雨緊急支援『さだまさしチャリティ・コンサート2020』を、8月17日(月)に、府中の森芸術劇場で実施いたしました。

直前まで名古屋国際会議場センチュリーホールで有観客での

開催を目指しましたが、新型コロナウイルス感染拡大によるお客様や関係者の安全・健康を第一に考え、無観客でのオンライン配信とさせていただきます。

初めての試みではありましたが、有料配信で約4,500人の方にご視聴いただきました。

風に立つライオン放送局

風に立つライオン基金を設立した理由



風に立つライオン基金の活動や、ささやかで偉大な志の想いなどを発信する「風に立つライオン放送局」を公式YouTubeとして開設、これまで27回の放送を配信しました。

定期的に更新していきますので、チャンネル登録とお気に入り動画へのいいねをよろしくお願いいたします。

ラインナップ

- #1 「風に立つライオン放送局」開設! 鎌田實×さだまさし対談
- 【番外編】 高校生ボランティア・アワード2020 シンポジウム・特別表彰式ダイジェスト
- #25 感染症の専門家に聞く 新型コロナの今後について 後編

～ささやかで偉大な志が集い、活動する場～

ライオンカフェWEB

目的	ささやかで偉大な「志」が集い、活動する場を生み出す
内容	カフェに入って雑談するような感覚で、気軽に集まってもらいたいオンライン上の情報交換掲示板
できること	ボランティア活動の共有 グッドニュースの発信 新しいプロジェクトの創出 など
参加者	風の団・風に立つライオン・ユース

風に立つライオン基金の風の会員体制は、日本中の人々の元気と勇気・叡智・心を結集し、支援を必要としている人々への積極的な援助活動することを目的としています。

「ささやかで偉大な志が集い、活動する場」として、「ライオンカフェWEB」という情報プラットフォームを立ち上げました。ライオンカフェWEBを活用することで、専門家や活動家がいっしょでもどこでもだれとでもつながることができます。平時の情報交換や連携から新規プロジェクトの創出を促し、有事の際には支援の初動を迅速にして、多くの大切ないのちを護ることを目指します。



日本中の人々の元気と勇気・叡智・心を結集し、“生命”を守るために闘おうとする“意志”を組織化して、支援を必要としている人々への積極的な援助活動することを目的としています。

「風の会員」募集中

日本中の人々の元気と勇気、叡智、心を結集した“生命”を守るために闘おうとする“意志”の組織を創る志を募集しています。

風の団	出動要請に応じて被災地支援やイベント協力などの活動にご参加いただけます。			
	専門団 医療系資格などの専門技能を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円	奉仕団 キャリアやその他の持てる力を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円
	支援団 会費によって風の団の活動を支える	会員種別：個人 年会費：1万円	会員種別：法人 年会費：1口10万円	会員種別：特別法人 年会費：1口30万円～

風に立つライオン・ユース	学校や活動分野の垣根を越えて、自由で活発な交流をしながら切磋琢磨していきます。	
	会員種別：個人 年会費：無料 対象：学生・新社会人	会員種別：認定校 年会費：無料 対象：認定団体

会員特典	会員証、メルマガ、イベント等優先案内、グッズ販売 など ※会員種別により異なります。
------	---



風に立つライオン基金の活動は、みなさまの温かなご支援により支えられています。頂いた寄付金や募金・会費・協力を追い風にして、必要とする方々や偉大な志へ支援の輪を広げていきます。
ご寄付いただける方、詳細を確認されたい方は、ホームページをご確認ください。

会員になる

基金が運営する支援組織に登録していただき、要請に応じて被災地支援などの活動にご参加いただく会員です。医療系資格などの専門技能を活かして活動していただく「専門団」と、専門資格を必要としない「奉仕団」、会費によって風の団の活動を支える「支援団」があります。
※詳しくはP17「風の会員募集」をご確認ください。

毎月寄付する

クレジットカードにより継続的なご寄付をいただける方は、ホームページによりご寄付いただけます。

今回のみ寄付する

クレジットカードもしくは銀行振込によりご寄付いただける方は、ホームページより決済方法をお選びいただけます。

遺贈・相続財産寄付でいのちをつなぐ

風に立つライオン基金は、いのちといのちをつなぎます。遺贈によるご寄付も受け付けております。託していただいたご意志は次世代の支援を必要とする方々のために役立てさせていただきます。ご遺言によるご寄付や、相続された遺産からのご寄付等は相続税の優遇を受けることができます。

※資料をご希望の際は、事務局までお問い合わせください。

※寄付金控除について

風に立つライオン基金は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、ご寄付は寄付金控除等の税の優遇措置（減税）を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は寄付額に対して最大40～45%が還付されます。

グッズを買って応援する

風に立つライオン基金のオリジナルグッズやコラボレーション商品をご購入いただくことで、手軽に応援いただくことができます。環境や人道負荷が少ない商品や、裏側にある生産者が繋ぐストーリーへの共感が社会貢献につながる世界を目指しています。企業や団体の皆様からのコラボレーションのご提案もお待ちしています。



折りたたみ電動アシスト自転車ECO★ベダル
(カーコンビニ倶楽部株式会社)

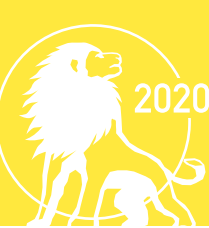


さだ彦珈琲のカフェオレのもと さだ彦珈琲のコーヒーゼリー
(猿田彦珈琲株式会社)

当財団にご支援いただいた寄付のご報告

	支援人数	支援金額
第六期(2020年度)	6,845人	136,200,466円
第五期(2019年度)	2,635人	45,472,959円
第四期(2018年度)	2,393人	55,306,226円
第三期(2017年度)	1,683人	28,956,869円
第二期(2016年度)	1,646人	52,278,107円
第一期(2015年度)	689人	68,871,580円
累計	15,891人	387,075,204円

※コンサート、イベント会場等でいただいた募金は支援金額のみ加算しており、支援人数には反映していません。
※各期は、4月1日～3月31日となります。(第一期のみ、2015年8月10日～2016年3月31日)



法人のみなさまとのパートナーシップ

企業や団体のみなさまの特徴や製品を活かした協働により、支援の輪と可能性を大きく広げることができます。
これまで培われた優れたスキルやノウハウで、ささやかで偉大な志を共に応援していきましょう。

法人会員になって応援

企業・団体として、風の会としてご登録いただき、会費によって、風に立つライオン基金や風の団の活動を支援していただきます。
会員特典として、感謝状や会員証の贈呈および、HPや年次報告書等に企業・団体名を掲載させていただきます。

イベント協賛で応援

高校生ボランティア・アワードを始め、当法人が主催するイベントへの協賛を広く募集しています。チャリティイベントなど、新たな企画アイデアも受け付けています。

寄付で応援

頂いた寄付金や寄贈品によって、災害時などに援助を必要なる方々や偉大な志の活動へ支援の輪を広げていきます。

※当法人への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金として、法人税法上の損金算入限度額が通常の損金算入限度額とは別枠で認められます。

寄付で応援(チャリティ・ゴルフ)

新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療従事者及び令和2年7月豪雨災害被災者への支援を目的としたチャリティ「ゴルフを止めるな!Don't stop the GOLF 医療従事者支援 女子プロゴルフツアー・チャリティスキンスゲーム」(7月27日開催)とチャリティオークションで集まった支援金より、株式会社ランダムアソシエイツ社様を通じて6,038,600円のご寄付をいただきました。



日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「富士通レディース2020」(10月16-18日開催)を通じて、収益金の一部を当法人の「新型コロナウイルス感染症対策緊急基金」に対し、富士通株式会社様より8,257,030円のご寄付をいただきました。



2020年度にご支援いただいた法人のみなさま

風の団 支援団



ご寄付



株式会社ランダムアソシエイツ	有限会社ファインティング・スピリッツ(角田信朗様)	株式会社クボちゃんホーム
----------------	---------------------------	--------------

※10万円(相当)以上のご支援を頂いた企業・団体のみなさまを敬省略・順不同で掲載させていただきます。

広報実績

新聞

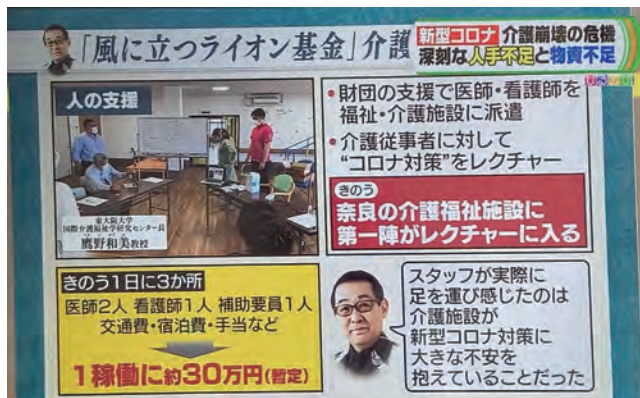


毎日新聞2020年07月23日

長崎新聞(長崎県)
毎日新聞夕刊
あきる野市地域新聞「西の風」
徳島新聞(徳島県)
大分合同新聞(大分県)
西日本新聞(福岡県)
毎日新聞朝刊(上)(下)

産経新聞朝刊
富山新聞(富山県)
長野日報
琉球新聞(沖縄県)
読売新聞
毎日新聞夕刊
下野新聞(栃木県)

テレビ



ひるおび!TBSテレビ
news every 日本テレビ
OBS大分放送テレビ
スーパーJチャンネル テレビ朝日系列
Abema news
紅白歌合戦 NHK総合

ラジオ

文化放送 鎌田実×村上信夫 「日曜はがんばらない」

雑誌

週刊ポスト 「ジタバタしない」 ※評議員鎌田実氏寄稿
おはよう21 8月号「おはようクローズアップ」
毎日が発見11月号「鎌田実式コロナにならない生活習慣」
※評議員鎌田実氏寄稿
Penプラス「完全保存版 全部、さだ」
毎日が発見4月号「もっともっとおもしろく生きようよ」
※評議員鎌田実氏寄稿

その他

市民活動総合情報誌「ウォロ6・7月号」
大阪ボランティア協会発行
m3「医療維新」
「厚生福祉」時事通信社

さだまさしオフィシャルサイト
鎌田実オフィシャルブログ
今夜も生でさだまさし(NHK総合) などご紹介

書籍



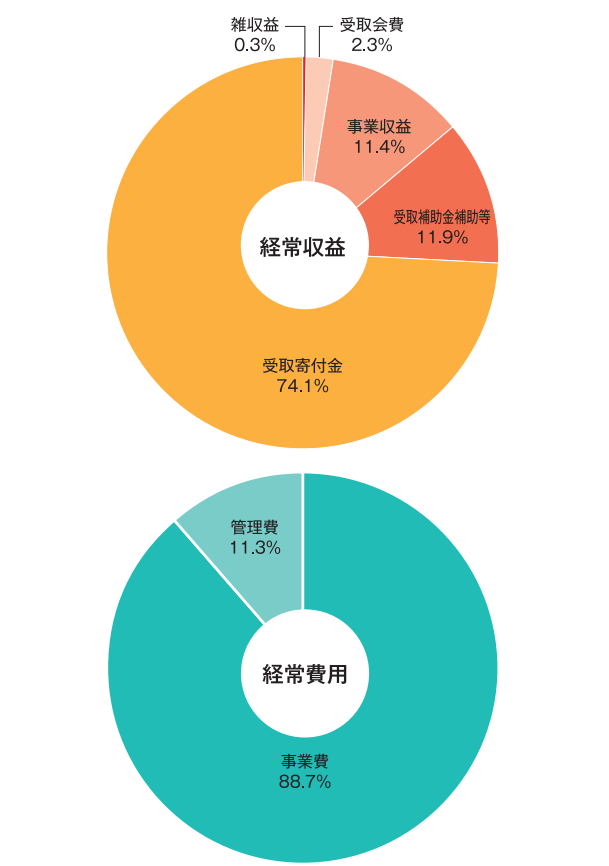
「ボランティアをやりたいたい!」
高校生ボランティア・アワードに集まれ!
岩波ジュニア新書



「緊急事態宣言の夜に
ボクたちの新型コロナ戦記2020」
幻冬舎

当法人では、公正で開かれた活動を推進するため、（定款、事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、貸借対照表など）すべてをホームページに公開しています。

正味財産増減計算書		
2020年4月1日から2021年3月31日まで(単位:円)		
経常収益	基本財産運用益	0
	特定資産運用益	0
	受取会費	4,767,500
	事業収益	23,521,700
	受取補助金等	24,513,000
	受取負担金	0
	受取寄付金	153,137,506
	雑収益	591,618
	経常収益計	206,531,324
経常費用	事業費	114,209,959
	管理費	14,581,702
	経常費計	128,791,661
当期経常増減額		77,739,663
法人税等		△220,000
当期正味財産増減額		77,519,663
一般正味財産期首残高		78,657,567
一般正味財産期末残高		156,177,230
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		156,177,230



貸借対照表	
2021年3月31日現在(単位:円)	

資産の部			
		当年度	前年度
流動資産	現金預金	76,744,437	79,120,388
	その他流動資産	3,088,233	1,792,405
	流動資産合計	79,832,670	80,912,793
固定資産	基本財産	0	0
	特定資産	100,000,000	0
	その他の固定資産	1,500,302	1,187,006
	固定資産計	101,500,302	1,187,006
資産合計		181,332,972	82,099,799

負債の部		
当年度		前年度
流動負債	25,155,742	3,442,232
固定負債	0	0
負債合計	25,155,742	3,442,232

正味財産の部		
当年度		前年度
指定正味財産	0	0
一般正味財産	156,177,230	78,657,567
正味財産合計	156,177,230	78,657,567
負債及び 正味財産合計	181,332,972	82,099,799



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

組織概要

名 称
公益財団法人 風に立つライオン基金

所 在 地
本 部 〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-11 赤坂甲陽ビル5F
四 国 支 部 〒760-0034 香川県高松市内町1-13 日新内町ビル
関 西 支 部 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル31F
東北復興支部 〒986-0847 宮城県石巻市中浦1-2-34

設 立
2015年8月10日

公益認定
2017年7月13日(内閣府より)／同7月21日登記)

設 立 者
さだまさし(佐田雅志)

評 議 員
鎌 田 實 諏訪中央病院名誉院長
佐 渡 裕 指揮者
古 田 敦 也 スポーツキャスター
戸 張 捷 ゴルフトーナメントプロデューサー
松 本 秀 男 一般社団法人 日本ほめる達人協会 専務理事

役 員
理 事 長 古竹孝一
副 理 事 長 千葉恵弘
常 務 理 事 早野秀之
理 事 佐田雅志
理 事 佐田繁理
理 事 伊澤武志
理 事 安西範康
監 事 桑野博輔